



# スピリット 常中魂

平成28年 2月 3日 NO・98

〒311-1114 水戸市塩崎町1016  
TEL029-269-2116 FAX029-269-3160  
Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp

【ホームページで、カラー版が見られます】

## シエイクアウト訓練実施

二月二日(火)に、水戸市シエイクアウト訓練並びに「ギョッと!おにぎりの日」が実施されました。  
生徒たちは、この訓練を通して、『災害時には、まず自分の身を守ることが重要であること(自助)、次に、周りの人と協力して互いに助け合うこと(共助)、さらには、行政の助けを借りること(公助)、の大切さを学びました。』



## 訓練終了後の感想より

・訓練で、素早く行動することができました。  
・つらい気持ちを思い出すということもありますが、訓練をしておくことは大切だと思います。  
・大きな地震が来たとしても、今回のように冷静に避難できればいいなと思いました。  
・もし大きな地震が来てしまったら、今回の訓練のように頭と首をしっかり守りたいです。

各新聞社によるインタビューの様子



第一学年防災教室の様子



・正直なところを言うと、今日はちょっと焦ってしまったりとところがありました。これがもし本番だったとしたら、怪我をってしまったかもしれないなど反省しています。

○ヘルメットを被っている人と、被っていない人がいましたが、これについてどう思いますか。

・はい、ヘルメットを被ることは、先生方から指導されていきました。普通の状態なら、だれも被れると思います。でも焦ってしまったのだと思います。

・頭をちゃんと守らなければと思ったのですが、机が小さかったので、「頭を入れなきゃ、入れなきゃ」と思ってしまい、焦りました。

・地震が、もし来てしまったときは、今日の教訓を生かして、焦らないで落ち着いて正しく行動したいと思いました。

今回の訓練を通し、改めて「訓練をしておくこと」の大切さを実感しております。

生徒たちが述べていたように、平時なら「地震の際は、頭を守るためにヘルメットを被ること」と一度指導すれば、生徒たちは、ほぼ100%ヘルメットを被ることができ

ます。  
しかし、焦ってしまったりと、今日のようにクラスの三分の一の生徒が「ヘルメットを被り忘れることがある」と、改めて分かりました。日頃から幾度となく訓練を繰り返すことが、焦りを減らし、命を守ることにつながります。

ご家庭でも、災害時には、それぞれがどう動くかを、再度話し合っておくことをお勧めします。

